

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について（令和5年度～令和7年度）

第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画が令和4年度（2022年度）で満了となることから、子どもの読書の活動に関する法律に基づき、第3次鎌倉市総合計画を最上位計画とし、子どもや教育関係、その他の行政計画と連携・調和を図って策定します。

鎌倉市の現状

- ・ 神奈川県や全国より、家にある本が多いことが特徴です。読書が好きという回答は多いものの、平日の一日の読書量は減少傾向にあり、読書は好きだが、読書に費やす時間が少ないという実態が見え、読書をする環境を整える必要があります。
- ・ 共生社会の実現に向けて動いています。
- ・ 令和10年（2028年）に本庁舎の移転が予定され、新庁舎内には深沢図書館を複合化するなど、図書館整備を進めます。

第3次計画の課題の総括

- ・ 子どもたちの特別なニーズへの対応
- ・ ヤングアダルト世代の読書率の低下
- ・ デジタル情報の興隆 ・ 新市庁舎への複合化

取り組むべき課題

計画の対象：0歳からおおむね18歳までの子どもたちとその保護者、ボランティア・教職員・行政機関の関係者など。

- ・ 子どもたちの特別なニーズへの対応、読書バリアフリーへの対応が不十分である。
- ・ ヤングアダルト世代の読書時間の減少が起きている状況への対応
- ・ 電子情報と紙資料のハイブリッドな活用の工夫、新型コロナウイルス感染症対応など、社会情勢の変化に応じた読書の環境整備が必要である。
- ・ 今後新市庁舎に移転する深沢図書館等での子どもの居場所としての「にぎやかな図書館」のあり方の検討

第4次計画の目標

子どもたちが求めるときに自由に本を選べる、本に接することができる、そして、本の探し方や本の楽しさを伝えてくれる人のいる、豊かな読書環境を、家庭・地域、学校、図書館・行政機関が連携して整備していくことを目標とします。

基本方針

1 読書の楽しさを伝えることを応援します

- ・ 子どもと本・情報をつなぐ取組を行います。

2 どこでも読書を応援します

- ・ だれもがどこでも読書を楽しめるような、バリアフリーな環境を整えます。
- ・ 子ども読書パックの活用とデジタル資料へのアクセスを支援します。

3 子どもと本をつなぐ人々を応援します

- ・ 学校・地域・図書館・行政機関など、まわりの大人たちが子どもたちの読書の応援団になるような取組をします。どんな連携があるかも見える化していきます。

重点事業と具体的な取組

1 読書バリアフリーへの取組

- ・ 読書バリアフリーについて、広く知ってもらう取組（バリアフリーおはなし会など）
- ・ 特別なニーズのある子どもに関わる施設等への聞き取りとニーズにあわせたサービスの検討
- ・ マルチメディアデイジーなどの録音図書・LLブックのPRと活用
- ・ 様々な子どもたちの読書活動のニーズにあわせた訪問サービス
- ・ 海外にルーツのある子どもたちへのサービスの提供

2 紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用

- ・ 紙とデジタルを併用した学習の研究
- ・ 電子書籍の導入の検討 ・ Wi-Fi環境の整備の検討
- ・ 教員や図書館司書を対象とした情報リテラシー研修の実施
- ・ 子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポート

3 ヤングアダルト世代への読書活動支援

- ・ ヤングアダルト世代を対象とした読書活動の支援
- ・ 中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりやイベント
- ・ 学校図書館の蔵書の充実 ・ 利用しやすい学校図書館づくりの検討

4 新しい図書館の整備に向けた検討

- ・ 子どもたちの意見も取り入れた居場所としての「図書館」
- ・ 新市庁舎への図書館複合化において、個々のニーズに応えるゾーニングの検討